

桜色



大の寒がりの私にとって、つらい季節がやってきました。朝、布団から出たり入ったりを何回も繰り返し、南の島に生まれたかったと思う毎日です。そして、早く暖かい春になり満開の桜を見たいと思う今日この頃です。

桜のなんとも言えない優しいピンク色は、本当に美しいですよ。実は、染織の時に桜色を出すには、花びらではなく、開花前の枝の皮を使うそうです。花びらを煮出すと灰色にしかならず、黒い枝の皮を煮出すと綺麗な桜色が出るそうです。花びらに出る桜色は全体のほんの一部に過ぎないのだそうです。桜の木は、目立たない冬の間に、一生懸命幹や枝を桜色でいっぱいにしていくのです。そして厳しい冬を乗り越え、春になると一斉に桜色の花を咲かせるのです。人も時には厳しい冬のような時期があるかもしれません。でもそれは、綺麗な花を咲かせる為に、必要な時なのかもしれません。そんな時は、冬の桜の木を思い出し、必ず来る春を信じて頑張りたいですね。私も、自分らしい色の花を咲かせられるよう、寒さに負けず頑張ろうと思います。

作業療法士 佐久間 大

特集

リハビリのことが知りたい!

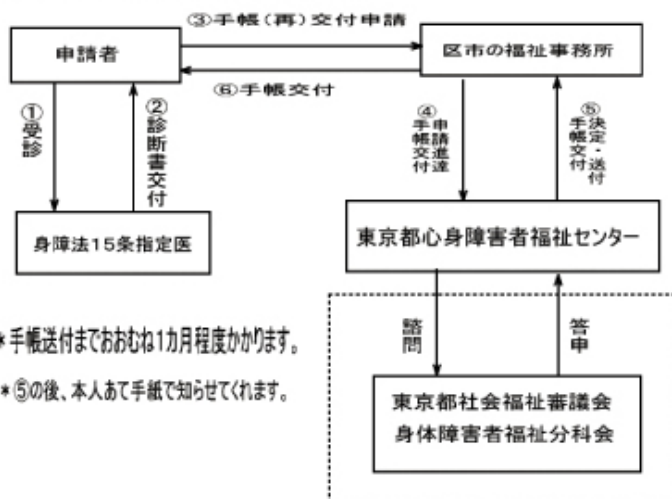
あなたの補装具はもっと安く新しくなる!?

～あなたの装具は本当に合っていますか? -2～

最近、装具が足に合わなくなってきた、装具のマジックテープが剥がれやすくなってきた、補聴器が欲しい(その他諸々)と感じている方はいるのではないのでしょうか? また、補装具(足の装具や補聴器など)を新しくしたいけど、高いだろうから今のままで我慢しようと考えている方も多いのではないのでしょうか?

しかし、そのように感じている方々のために身体障害者手帳があります。身体障害者手帳を利用することで、補装具の購入や修理の自己負担額がおおよそ一割で済みます。そのため、現在、補装具を着用し、少しでも違和感のある方、気になることがある方は身体障害者手帳の申請をお勧めします。

身体障害者手帳交付までの流れ



*手帳送付までおおむね1カ月程度かかります。

*⑤の後、本人あて手紙で知らせてくれます。

※該当・等級に疑義がある場合

◆申請前のポイント

- ①主治医に障害申請可能かを聞いておきます。
- ②病院の受付相談コーナーで身障法15条指定医師の名簿をもらっておくと便利です。
 - ・市区町村の福祉事務所でも身障法15条指定医師のいる病院を確認できます。
 - ・診断書の記述には時間がかかります。

◆注意

通常の補装具の再支給は耐用年数(足の装具は1.5～3年、補聴器は5年など)を過ぎてから行われます。しかし、障害状況の変化等で合わなくなった場合や、著しく破損し修理不可能な場合は、耐用年数内でも再支給が可能です。

国立あおやぎ苑で働く車を一挙公開!

「いつもお迎えに来てくれたり、街でよく見掛けるけど、この間乗ったのと少し違うみたい。」

なんていう話をよく聞きます。そこで今回は、国立あおやぎ苑にはどんな車があるのか紹介します。



ところで何で11号車から始まるの…?

車番号を付け始めたのは「国立あおやぎ苑立川」が最初だからです。ですから国立あおやぎ苑立川では1号車から10号車の車が走っています。ちなみに国立あおやぎ会全体では31台の車が毎日安全運転を心掛けて皆さんを送迎しております。



11号車 定員 6 名 (うち車椅子 3 名)
特長 使い勝手の良いロングボディ。楽々送迎車です。



12号車 定員 5 名 (うち車椅子 3 名)
特長 新しいカッコいいヤツです。



13号車 定員 5 名 (うち車椅子 2 名)
特長 どんな悪天候でも安心して乗れる車です。



14号車 定員 5 名 (うち車椅子 2 名)
特長 小さいけど一番新しくて便利なタイプの車です。



15号車 定員 4 名 (うち車椅子 1 名)
特長 国立あおやぎ苑に行こ行こ号!!



16号車 定員 4 名 (うち車椅子 1 名)
特長 コンパクト車でありながら室内は広く快適です。



17号車 定員 8 名 (うち車椅子 0 名)
特長 乗り心地最高かつ力強い車です。



18号車 定員 8 名 (うち車椅子 0 名)
特長 マイクロバスタイプで楽しく乗車ができドライブ気分になれます。



19号車 定員 3 名 (うち車椅子 0 名)
特長 ハイブリットのエコカー車で乗り心地最高です。



訪問 1 号車



訪問 2 号車



※定員は御利用者の方の数です。12月中旬 国立あおやぎ苑に電気自動車を導入予定です。

外出訓練

最近、南武線に乗って立川駅までお買い物へ出掛けています。「化粧をしたのは久しぶり。」「人が多くてびっくりした。」「大冒険だった。」「元気になってまた遊びに来たい。」と皆さん大喜びでした。



運動会

今年も秋恒例の大運動会が各階で行われました。普段は歩きたがらない方も、この日だけは一生懸命 足を動かす姿にビックリさせられました。



作品展



大橋博子様

「約4年の歳月をかけて丁寧に作り上げた最高傑作です。」

重松幸子様

「宝物のように大切にしている桜の貼り絵です。多くの作品の中でもこれが一番のお気に入りです。」



新入職員紹介

藤ヶ崎一久

(作業療法士)

11月に入職しました藤ヶ崎と申します。まだまだ未熟者ではありますが、笑顔で頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひ致します



枕丁花 甘い香りをはなちつつ
コスモスの 咲きみだれ
色あざやかに 牧野孝雄様

抹茶アイスが だあいすき
海野利昭様

秋桜や 学校帰りのリコーダー
しるるや 袖すり坂をたもどる
ケンタッキー おじさんと共に薬味ひ
秋京都 天動祝のなつかしや
よさこいや

日毎寒さ身にしみて
馬場ひさ子様

秋うらら

あおやぎ苑の談話室
フロントの 花もをこやか 心静まる
年せまり

あおやぎ俳壇

現在、地域の皆様のご理解・ご協力により、当苑で活動されているボランティア登録者数も増えてまいりました。そこで、広く皆様に活動の様子等を知って頂きたい、各お月は新聞と交互に奇数月の発行を予定しています。お楽しみに!!